

ハコモノ施設の更新に関する方針(西区) (平成29年～平成38年までの10年間)

区分	施設名	建築年度	経過年数	市の基本的な考え方
	青少年センター	昭和40年	52年	少子化を踏まえ幅広い年齢層の利用により都心の拠点性強化をはかる観点から、今後の中央公園の在り方検討の中で検討する。
	中央図書館	昭和49年	43年	
	こども文化科学館	昭和54年	38年	
	こども図書館	昭和54年	38年	
	映像文化ライブラリー	昭和56年	36年	
集会所 (西区)	小河内町一丁目	昭和41年	51年	地域住民の活動・交流の場であり、小学校区単位で近隣施設との複合・集約化を検討する。地元の意向を考慮し地元への譲渡も検討する。
	大宮	昭和46年	46年	
	楠木	昭和48年	44年	
スポーツ施設	中央バレーボール場	昭和30年	62年	屋内でバレーボール実施可能な施設が充実しているので、廃止を含めて検討する。
	高陽体育館	昭和39年	53年	地域全体の活性化の視点に立ち、汎用型施設を含む周辺施設との複合化・集約化を検討する。
リクレーション施設	大芝公園交通ランド	昭和42年	50年	民間活力を活用した施設の魅力向上と運営の効率化を図る。
	花みどり公園	昭和52年	40年	農家や一般市民を対象とした園芸講座による技術指導を図るとともにリクレーション機能を持つ施設とすることを検討する。
	中央公園ファミリープール	昭和54年	38年	中央公園以外の場所への移転を含めて検討する。
	市民農園	平成9年	20年	入園率の低い農園は地元の活用ニーズを踏まえ、地域活性化に資する取組を検討する。
住宅	市営住宅	市営住宅マネジメント計画で方針化する		
	市営店舗	耐用年数まで活用し、原則、建替えはしない。ただし、地域の利便施設の役割、民間活力の導入など個々の事情を踏まえる。		
交通	駐車場	過度なマイカー利用を抑制し、公共交通機関への転換を図るため、民間駐車場の整備を踏まえ市営駐車場は廃止し、自転車等駐輪場への転換を検討する。		